

H2V Managerをお買い上げのお客様へ

電気設備（太陽光発電、エコキュート、オール電化工事、エネファーム、蓄熱暖房機など）を取付ける時、電気会社との契約を変更される時に、**電気工事で注意して頂くことがあります。**

電気設備の取付けをお考えのお客様は、**本機をお買い上げの販売店にご連絡を頂くか、本誌を電気工事業者様にお渡しください。**

トヨタメディアサービス株式会社

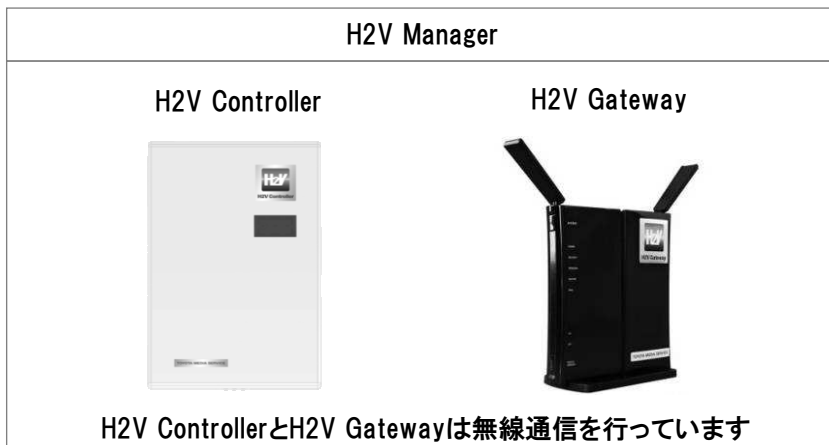
〒460-0003
愛知県名古屋市中区錦一丁目11番11号 名古屋インターシティ14階

2012年1月発行

電気工事業者様へ

H2V Managerについて

H2V Managerはクルマの充電を管理するシステムです。H2V ControllerとH2V Gatewayの機器があります。



本機は主幹ブレーカーの電流を測定し、クルマの充電中に消費電流が契約アンペアに近づくとクルマの充電を一時中断（ピークカット）します。

H2V Controller（以下本機）は分電盤内の主幹ブレーカーの、電流を測定しています。

- ・分電盤の交換
- ・主幹ブレーカーの交換
- ・リミッター（サービスブレーカー）の交換
- ・リミッター（サービスブレーカー）の撤去
- ・リミッター（サービスブレーカー）の取付

を行う場合は

電流計測器（CT）の取付け直しが必要です。

主幹ブレーカーの1次側もしくは2次側（L1、L2）にCTを取付け電流の計測を行っています。

契約電流の変更がある場合は、本機の設定変更が必要です。

本機は、電流制限器有無のスイッチと、契約容量スイッチがあります。

■電流制限器有無のスイッチ

- リミッターがあるとき 有 にする
- リミッターがないとき 無 にする

■契約容量スイッチ

- リミッターがあるとき リミッターの容量（A）をセットする
- リミッターがないとき 主幹ブレーカーの容量（A）をセットする

※ダイヤルスイッチの矢印を正しく数字に合わせてください。矢印が数字を差していないときは無効になります。

本機には電源スイッチはありません。稼働中の状態でスイッチを操作してください。

注意）再起動スイッチ、通信スイッチは絶対にさわらないでください。

リミッター・主幹ブレーカーの交換したとき

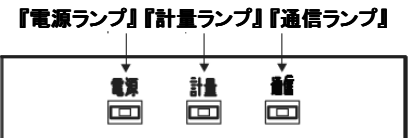
ブレーカーを交換したときは

電流計測器（CT）の取付け直しをお願いします。

CTの取付については裏面をご確認下さい。

契約容量、電流制限器の設定をお願いいたします。

CTの取付け直しや契約容量、電流制限器の設定を行った後に本機のランプ状態を確認してください。



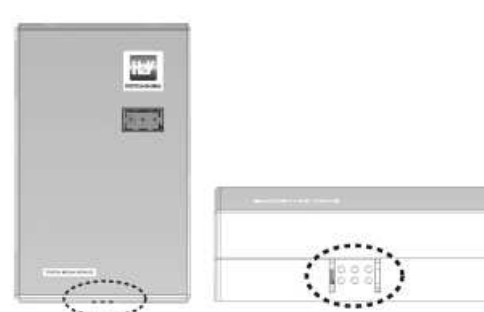
本機のランプ状態については裏面をご確認ください。

本機の設定を変更しないと

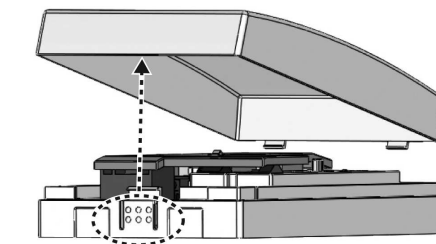
- 大きい容量のブレーカーに変更した（契約アンペアを増やした）とき
 - ・クルマの充電中に頻りにピークカットが発生する可能性があります。
- 小さい容量のブレーカーに変更した（契約アンペアを少なくした）とき
 - ・クルマの充電中にピークカットが働かず、ブレーカーダウンが発生する可能性があります。

H2V Controllerカバーの外し方

- ① H2V Controller本体の下にある部分を押しします。

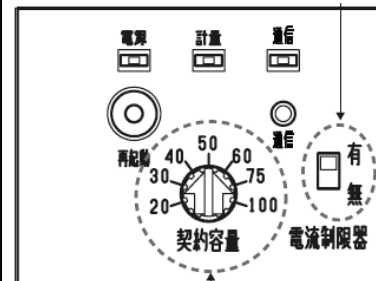


- ② 部分を押ししたままカバーをはずします。



H2V Controllerの設定

①【契約方法選択スイッチ】



- ① 電流制限器【契約方法選択スイッチ】を設定します。リミッターの有無は電力会社の電気の契約によって決まります。リミッターありの場合は 有、リミッターなしの場合は 無 を設定。

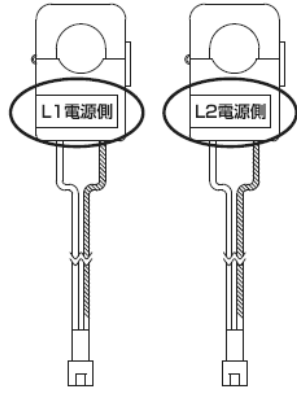
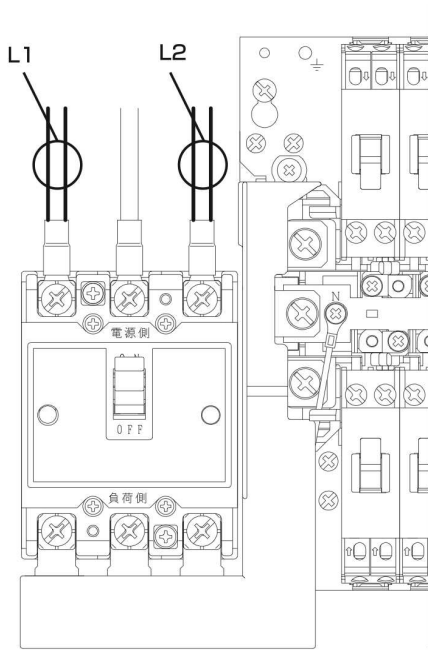
- ② 契約容量を設定します。【契約容量選択スイッチ】で契約容量を選択します。※リミッターありの場合はリミッターの容量、リミッターなしの場合は主幹ブレーカーの容量を選択します。契約容量の設定は、矢印を数字に合わせて設定して下さい。矢印の位置が数字の間になると設定が無効になります。

②【契約容量選択スイッチ】

本機のCT取付場所

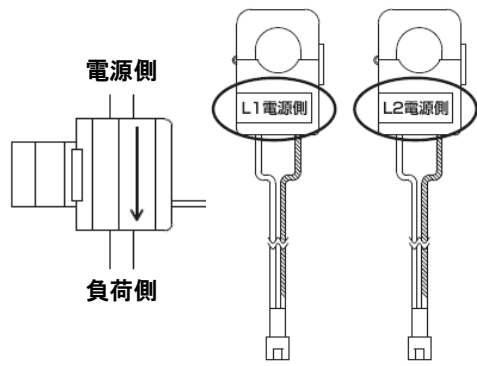
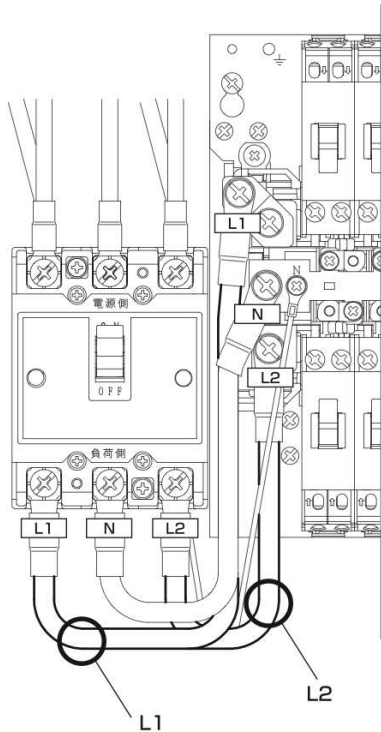
本機のCT取付場所は、主幹ブレーカーの1次側もしくは、主幹ブレーカーの2次側に取付けます。

■ 1次側に接続する場合



※主幹用CTはL1用とL2用に
分かれています。
印字をよく見て取付けて
ください。

■ 2次側に接続する場合



※主幹用CTには取付け向き
があります。
矢印が負荷側に向くように
取付けてください。

分電盤の主幹ブレーカー2次側を銅バーを電線に変更する手順

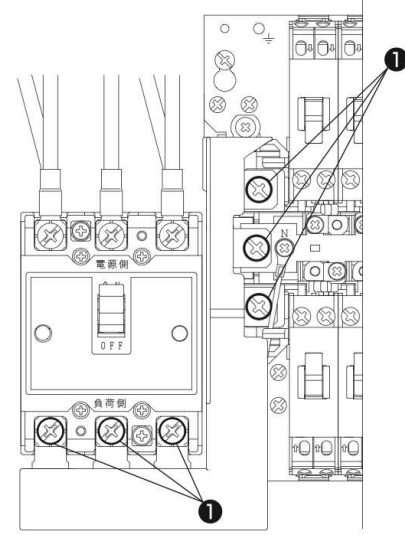
太陽光発電やエコキュートなどの配線を行うときに、主幹ブレーカーの1次側に入線を追加する場合は、本機のCTを主幹ブレーカーの2次側に取付けてください。

主幹ブレーカーの2次側にCTを取付る場合は、銅バーを電線に変更してください。

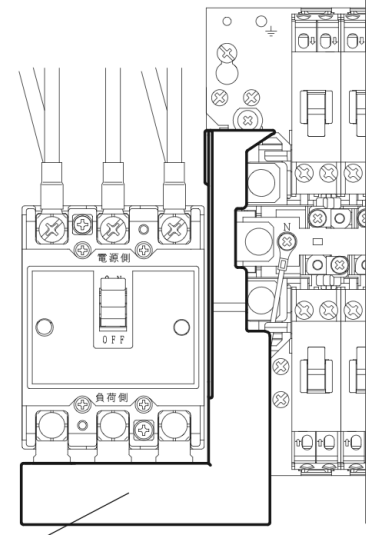
エコキュート・太陽光のブレーカーが主幹の1次側に接続している場合、
下記の手順で主幹2次側の結線方法を変更します。
※住宅分電盤の主幹をOFFにしてから施工をおこなってください。

河村電器産業製ホーム分電盤の場合

① 銅バーを固定している
ねじ(6本)をはずします。



② 銅バーユニット取り外します。



銅バーユニット

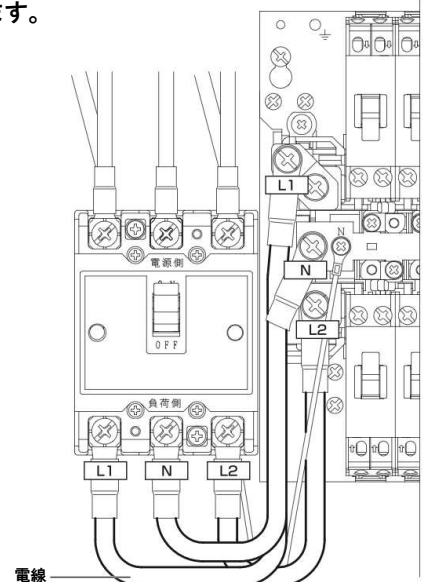
③ ブレーカーと充電部の各相を電線で接続します。

ブレーカーの相順：左からL1、N、L2
充電部の相順：上からL1、N、L2
※電線の接続は①ではずしたねじを使用してください。

絶縁電線の種類

主閉器の定格電流	絶縁電線の太さ (IV線)
30A	8mm ²
40A	8mm ²
50A、60A	14mm ²
75A	22mm ²
100A	38mm ²

※電線の種類により太さは異なります。



電線

H2V Controllerのランプの見方 ランプ異常点灯時の対処方法

項目	分類	状態	電源 緑ランプ	計量 青ランプ	通信 橙ランプ	備考
PCC状態	基本状態	通電されていない	○	○	○	
		H2V Controller起動処理中	△	△	△	
		H2V Controller正常動作中	■	—	—	
	処理中	ファームウェア更新中	△	△	△	
		ピークカット処理中	△	—	—	
	異常発生	H2V Controller CPU故障	○	○	○	H2V Controller交換必要
クルマ充電用リレー動作の 寿命時間超過		▲	—	—	リレーのON、OFFが10万回を超えたとき発生 H2V Controller交換必要	
H2V Controller施工異常通知		▲	—	—	H2V Controller設置時の配線誤り 配線の確認	
電流計測	処理中	主幹電流計測中でクルマ充電無し	—	○	—	
		クルマ充電中	—	■	—	
		ピークカット後の目標電流値超過	—	△	—	クルマ充電を再開する電力が確保できません
	異常発生	不揮発性メモリ異常	—	▲	—	H2V Controller交換必要
		電流測定異常	—	▲	—	H2V Controller設置時のCT向き取付誤り CTの向き確認
無線通信	基本状態	H2V Gatewayと通信中 (TCP接続済み)	—	—	■	
		処理中	H2V GatewayとWPS接続設定中	—	—	△
	異常発生	H2V GatewayとWi-Fi接続不可	—	—	○	補足) 10分経過すると自律運転モードで実行する
		H2V GatewayとWi-Fi接続済み、 TCP接続不可	—	—	▲	H2V ControllerとH2V Gateway接続確認時に発生 H2V ControllerとH2V Gatewayの接続確認
		H2V GatewayとWPS接続失敗	—	—	▲	H2V ControllerとH2V Gateway接続確認時に発生 H2V ControllerとH2V Gatewayの接続確認
		Wi-Fiモジュール故障	—	—	▲	H2V Controller交換必要

○：消灯 ■：点灯 ▲：連続点滅 △：2回点滅 —：非対応